

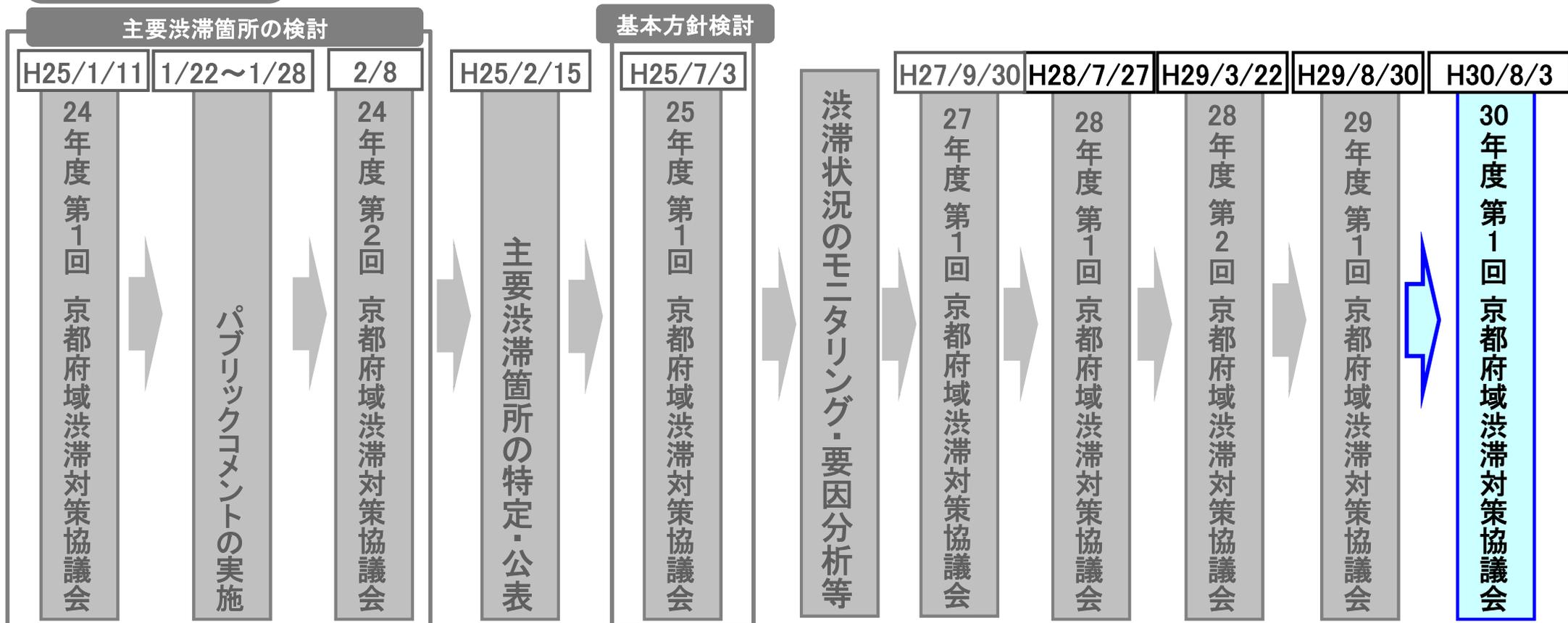
1.これまでの経緯

渋滞対策の方針

- 「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 民間プローブデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること

課題を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組む

渋滞対策の検討経緯



2.検討体制(京阪神圏ボトルネック対策協議会との役割分担)

- 京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会では、主に広域的な視点で審議し、①高速道路での課題、②府県間を跨ぐ一般道路等を担当
- 京都府域渋滞対策協議会では、京都府域の一般道路の主要渋滞箇所を担当

■協議会構成(京阪神圏渋滞対策ボトルネック対策協議会との役割分担)

京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会

- 京阪神圏は渋滞が面的に集中・連担しているため、主として広域的な視点で審議する。
⇒①高速道路での課題、②府県間を跨ぐなど、広域的な視点での課題

兵庫地区
渋滞対策協議会

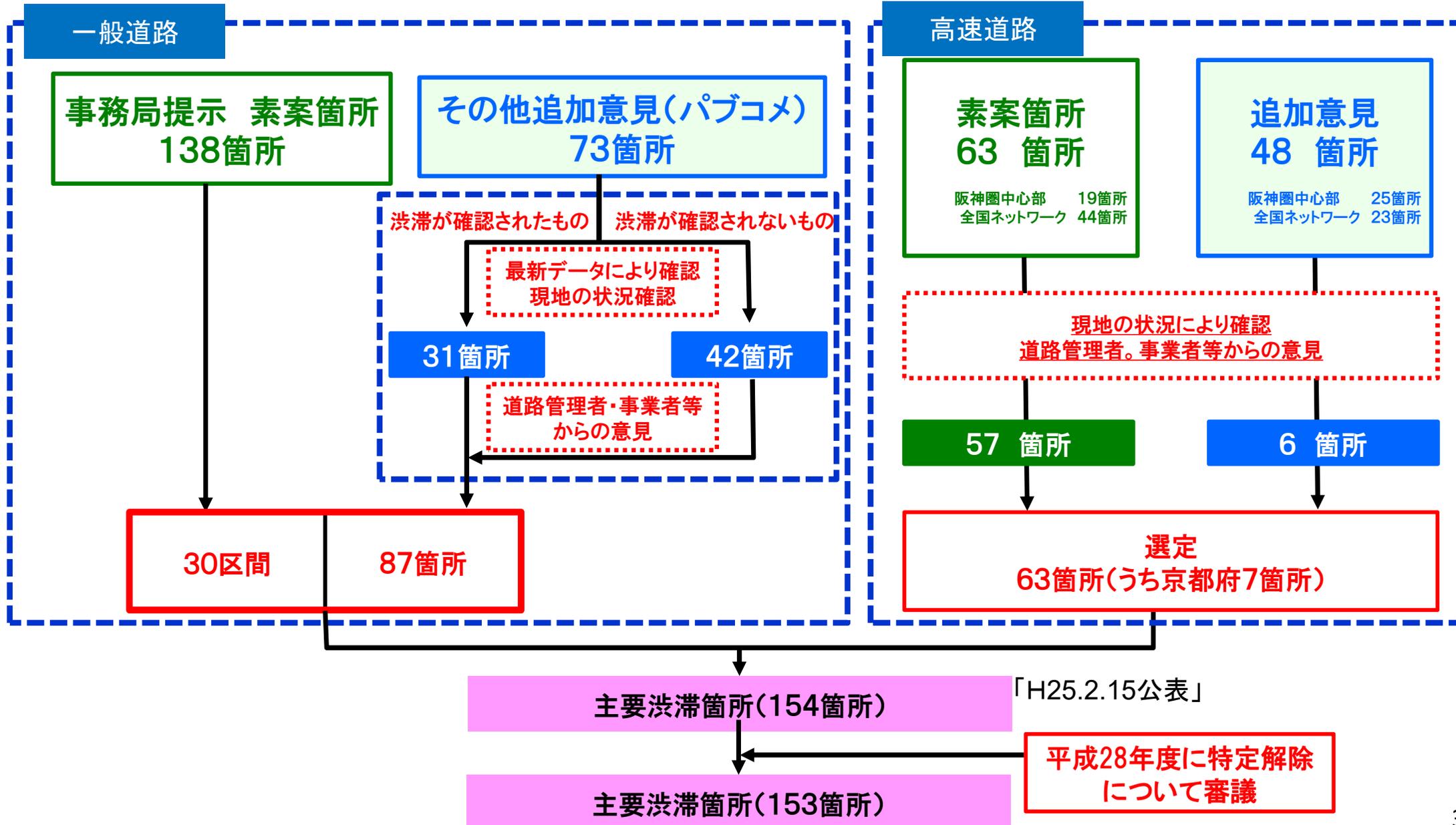
京都府域渋滞対策協議会

- 京都府域の渋滞を対象として審議
⇒ 京都府域のネットワーク、区間、
箇所の課題

大阪地区
渋滞対策協議会

3.主要渋滞箇所を選定・公表

- 一般道路では、旅行速度データ等から、主要渋滞箇所(素案)を抽出し、道路管理者・事業者等からのご意見や、パブリックコメントによる一般の道路利用者からのご意見を踏まえて、主要渋滞箇所を選定(154箇所)
- 平成28年度第2回の協議会において、1箇所を対象に、特定解除を行ったため、現在は153箇所となる。



4. 京都府域渋滞対策協議会での協議事項

○京都府域渋滞対策協議会では、京都府域全体における課題の状況を継続的に把握・共有していくために以下の3点について、審議を実施

- ①主要渋滞箇所(一般道路)のモニタリング
- ②事業完了による対策効果検証
- ③京都府域における交通課題等の情報提供・共有

渋滞対策協議会のポイント

①主要渋滞箇所(一般道路)のモニタリング

主要渋滞箇所選定時と現在の渋滞状況の比較

【主要渋滞箇所全箇所】

②事業完了による対策効果検証

主要渋滞箇所選定時以降に完了した事業周辺の事業前後の交通状況比較

【事業周辺の主要渋滞箇所等】

③京都府域における交通課題等の情報提供・共有

京都府域における渋滞に関連した交通課題等の情報提供・共有

5.平成29年度第1回協議会での協議事項

- 平成29年度第1回協議会での議事内容および、各協議事項に対する指摘や了解事項は下表のとおりである。
- 平成29年度第1回協議会における主な了承事項は以下のとおりである。
- ・主要渋滞箇所のモニタリング、事業完了による対策効果検証の内容について了承
 - ・堀川通における渋滞状況及び対策の検討について、渋滞対策協議会構成員での合同現地点検を実施し、一定の効果が期待される短期的な対策実施や中長期的な対策案を検討していくことで了承された。
 - ・今後の進め方として、定期的に協議会を開催し、主要渋滞箇所のモニタリングやカルテ作成について、連携を図っていくこととなった。

議事内容	主な指摘事項
(1) 京都府域渋滞対策協議会の経緯	<p>■京都市 都市計画局 京都市では、国道に限らず、秋の観光シーズンにおいて、東山、嵐山、等の観光地で対策を実施していくため、京都府警をはじめ皆様に協力いただければと考えている。</p> <p>■京都府観光連盟 京都府観光連盟としては、京都府内に多くの観光客に来ていただくことを目的としており、インバウンドの方のレンタカー利用が増えていることを踏まえ、外国人旅行者の方にとって、道路標識の見易さ等の改善をお願いしたいと考えている。</p> <p>■近畿運輸局 秋の観光シーズンには、京都市と連携してパークアンドライド等の対策に取り組んでいる。200台程度の駐車場があることから、取り組みに対して連携していきたいと考えている。</p> <p>■京都府 道路計画課 京都府亀岡市において、スタジアムの建設が計画されており、住民の皆様から渋滞状況について、確認の依頼等が挙がっている。こうした状況も踏まえ、今後とも情報共有していければと考えている。</p>
(2) 主要渋滞箇所のモニタリング	
(3) 事業完了による対策効果検証	
(4) 京都府域における交通課題等の情報提供・共有 ▶ 堀川通における渋滞状況及び対策の検討	
(5) 今後の進め方	
(6) その他	

6. 平成30年度第1回協議会での協議事項

○本日の協議会では、WG設置により重点的に取り組むエリアを明確にするとともに、主要渋滞箇所の特定解除の他、京都府域における交通課題等の情報提供・共有、ワーキンググループの設立に伴う規約改正について確認する。

平成30年度第1回協議会での協議のポイント

項目	協議内容	資料内容
①京都府域渋滞対策協議会の経緯	・これまでの経緯	・H29年度 協議会での主な協議事項を確認 ・H30年度 第一回協議会での協議のポイント
②主要渋滞箇所の特定解除候補について	・主要渋滞箇所の特定解除方法等	・特定解除フローを踏まえた解除候補箇所の抽出 ・最新のETC2.0により継続して渋滞状況を面的に整理
③観光地周辺のソフト対策効果検証及び課題整理	・京都市域の観光地周辺でのソフト対策の効果検証及び課題整理	・秋の観光シーズンにおける渋滞対策施策等の整理 ・京都市域の観光地のうち、①嵐山地区、②東山地区対象に、ソフト施策の効果検証及び課題整理
④ワーキンググループの設置と規約改正	・京都都市圏WGの設置 ・規約の提案・承認	・京都都市圏WGの概要 ・WGの設置趣旨を踏まえた規約(案)の提案